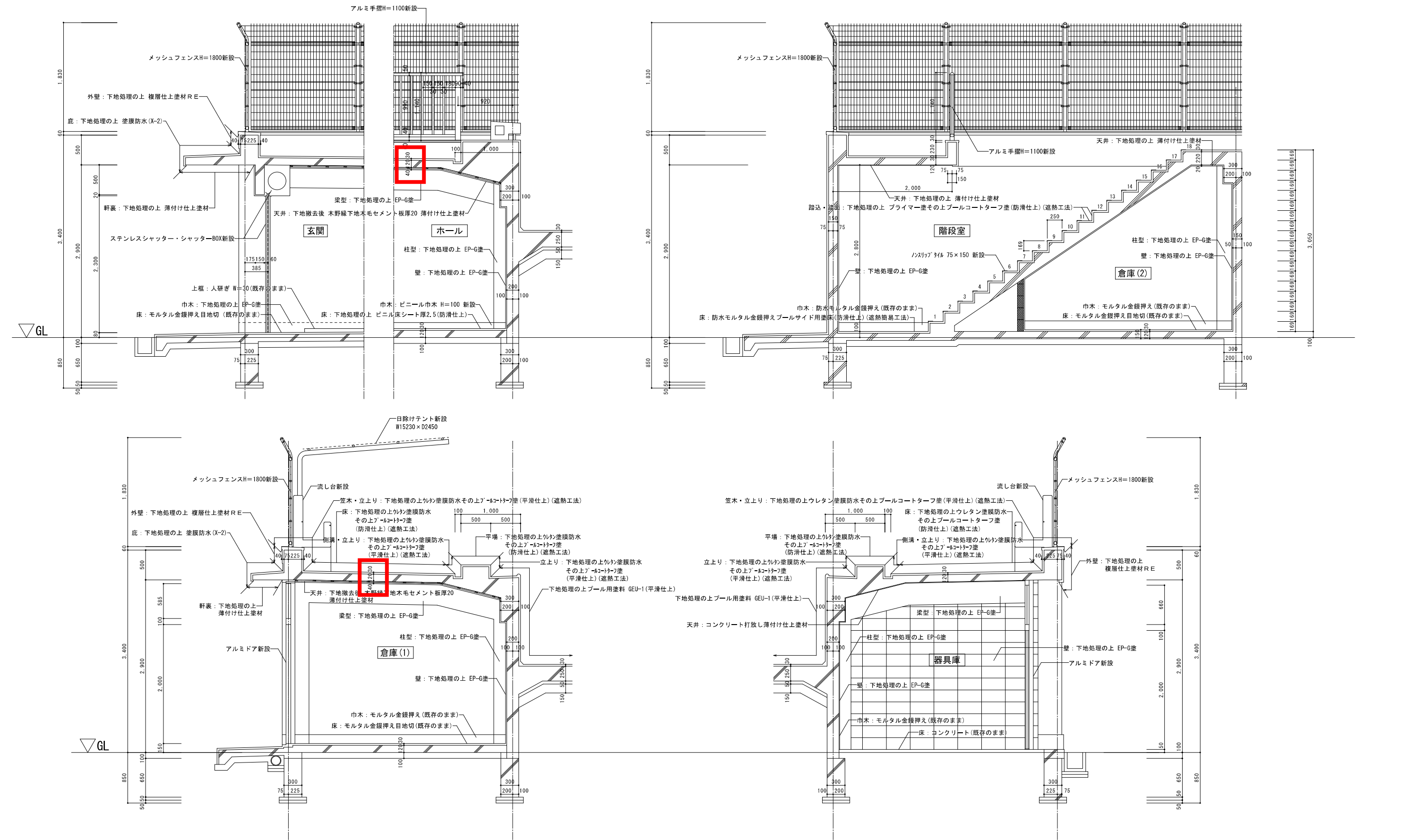


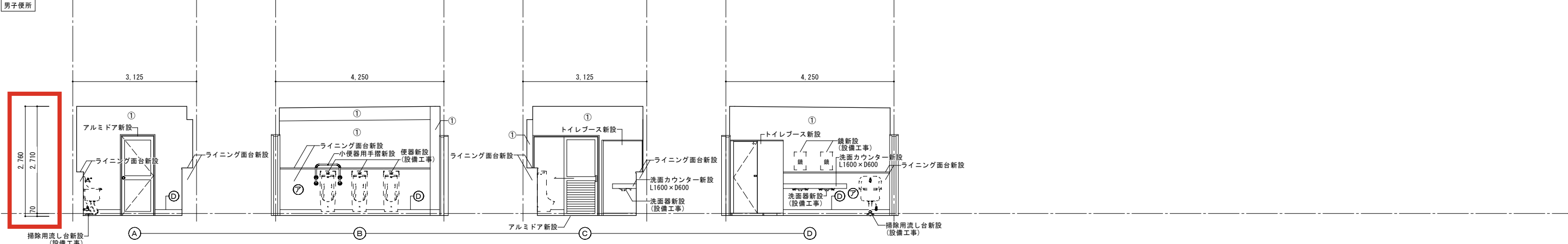
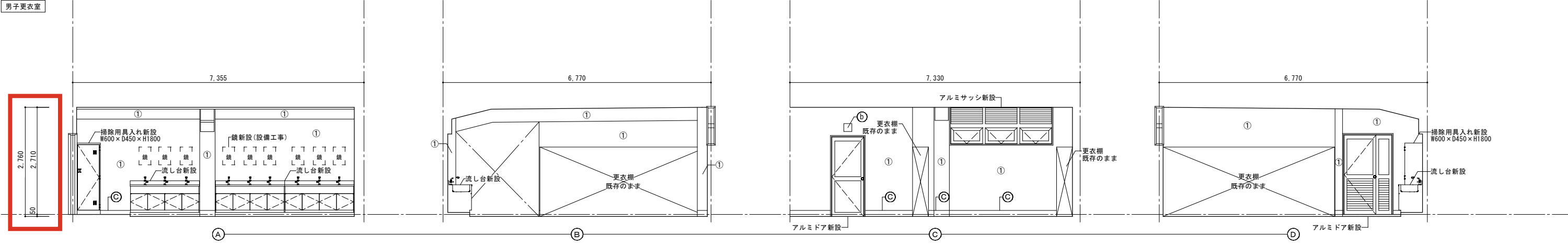
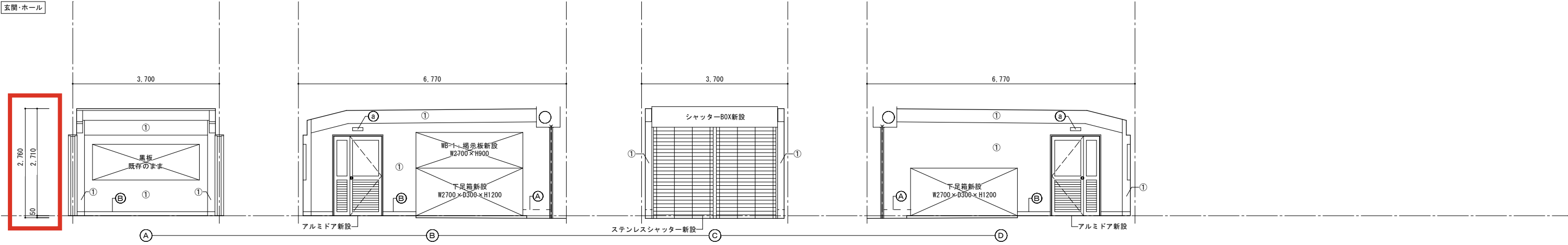
内部仕上表										
室名		下地	床	巾 木	腰 壁	壁	天井	天井高		室名
玄 関	改修前	C	モルタル金鍍押え目地切	モルタル金鍍押え H=150	モルタル金鍍押え VP塗	モルタル金鍍押え VP塗	木毛セメント板厚25打込み アクリルリシン吹付	2.775	改修前	玄 関
	改修後	C	既存のまま	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地撤去後 木野縁下地木毛セメント板厚20 薄付け仕上塗材	2.760	改修後	
ホー ル	改修前	C	モルタル金鍍押え	モルタル金鍍押え H=150	モルタル金鍍押え VP塗	モルタル金鍍押え VP塗	木毛セメント板厚25打込み アクリルリシン吹付	2.725	改修前	ホー ル
	改修後	C	下地処理の上 ビニール床シート厚2.5(防滑仕上)	ビニール巾木 H=100 新設	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地撤去後 木野縁下地木毛セメント板厚20 薄付け仕上塗材	2.710	改修後	
男子更衣室	改修前	C	モルタル金鍍押え目地切	モルタル金鍍押え H=150	モルタル金鍍押え VP塗	モルタル金鍍押え VP塗	木毛セメント板厚25打込み アクリルリシン吹付	2.775	改修前	男子更衣室
	改修後	C	下地処理の上 合成樹脂塗床(防滑仕上)	下地処理の上 合成樹脂塗床 H=150	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地撤去後 木野縁下地木毛セメント板厚20 薄付け仕上塗材	2.760	改修後	
女子更衣室	改修前	C	モルタル金鍍押え目地切	モルタル金鍍押え H=150	モルタル金鍍押え VP塗	モルタル金鍍押え VP塗	木毛セメント板厚25打込み アクリルリシン吹付	2.775	改修前	女子更衣室
	改修後	C	下地処理の上 合成樹脂塗床(防滑仕上)	下地処理の上 合成樹脂塗床 H=150	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地撤去後 木野縁下地木毛セメント板厚20 薄付け仕上塗材	2.760	改修後	
男子便所	改修前	C	防水モルタル金鍍押え目地切	防水モルタル金鍍押え H=220	モルタル金鍍押え VP塗	モルタル金鍍押え VP塗	木毛セメント板厚25打込み アクリルリシン吹付	2.795	改修前	男子便所
	改修後	C	下地処理の上 合成樹脂塗床(防滑仕上)	下地処理の上 合成樹脂塗床 H=220	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地撤去後 木野縁下地木毛セメント板厚20 薄付け仕上塗材	2.780	改修後	
女子便所	改修前	C	防水モルタル金鍍押え目地切	防水モルタル金鍍押え H=220	モルタル金鍍押え VP塗	モルタル金鍍押え VP塗	木毛セメント板厚25打込み アクリルリシン吹付	2.795	改修前	女子便所
	改修後	C	下地処理の上 合成樹脂塗床(防滑仕上)	下地処理の上 合成樹脂塗床 H=220	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地撤去後 木野縁下地木毛セメント板厚20 薄付け仕上塗材	2.780	改修後	
男子シャワー室	改修前	C	防水モルタル金鍍押え目地切	防水モルタル金鍍押え H=250	モルタル金鍍押え VP塗	モルタル金鍍押え VP塗	木毛セメント板厚25打込み アクリルリシン吹付	2.825・2.925	改修前	男子シャワー室
	改修後	C	下地処理の上 合成樹脂塗床(防滑仕上)	下地処理の上 合成樹脂塗床 H=250	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地撤去後 木野縁下地木毛セメント板厚20 薄付け仕上塗材	2.810・2.910	改修後	
女子シャワー室	改修前	C	防水モルタル金鍍押え目地切	防水モルタル金鍍押え H=250	モルタル金鍍押え VP塗	モルタル金鍍押え VP塗	木毛セメント板厚25打込み アクリルリシン吹付	2.825・2.925	改修前	女子シャワー室
	改修後	C	下地処理の上 合成樹脂塗床(防滑仕上)	下地処理の上 合成樹脂塗床 H=250	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地撤去後 木野縁下地木毛セメント板厚20 薄付け仕上塗材	2.810・2.910	改修後	
倉庫1	改修前	C	モルタル金鍍押え目地切	モルタル金鍍押え	モルタル金鍍押え	モルタル金鍍押え	木毛セメント板厚25打込み	2.725	改修前	倉庫1
	改修後	C	既存のまま	既存のまま	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地撤去後 木野縁下地木毛セメント板厚20 薄付け仕上塗材	2.710	改修後	
倉庫2	改修前	C	モルタル金鍍押え目地切	モルタル金鍍押え	モルタル金鍍押え	モルタル金鍍押え	モルタル剛毛引き	2.750	改修前	倉庫2
	改修後	C	既存のまま	既存のまま	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 薄付け仕上塗材	2.750	改修後	
倉庫3	改修前	C	モルタル金鍍押え目地切	モルタル金鍍押え	モルタル金鍍押え	モルタル金鍍押え	モルタル剛毛引き	2.750	改修前	倉庫3
	改修後	C	既存のまま	既存のまま	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 薄付け仕上塗材	2.750	改修後	
倉庫4	改修前	C	コンクリート	モルタル金鍍押え C B見出し	コンクリート打放しアクリルリシン吹付 モルタル金鍍押え C B見出し	コンクリート打放しアクリルリシン吹付 モルタル金鍍押え C B見出し	コンクリート打放しアクリルリシン吹付	2.850	改修前	倉庫4
外部倉庫4	改修後	C	既存の上からモルタル金鍍押え	既存のまま	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 薄付け仕上塗材	2.800	改修後	外部倉庫4
倉庫5	改修前	C	コンクリート	モルタル金鍍押え C B見出し	コンクリート打放しアクリルリシン吹付 モルタル金鍍押え C B見出し	コンクリート打放しアクリルリシン吹付 モルタル金鍍押え C B見出し	コンクリート打放しアクリルリシン吹付	2.850	改修前	倉庫5
外部倉庫5	改修後	C	既存の上からモルタル金鍍押え	既存のまま	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 薄付け仕上塗材	2.800	改修後	外部倉庫5
機械室	改修前	C	モルタル金鍍押え目地切	モルタル金鍍押え	モルタル金鍍押え	モルタル金鍍押え	木毛セメント板厚25打込み	2.725	改修前	機械室
	改修後	C	既存のまま	既存のまま	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地撤去後 木野縁下地木毛セメント板厚20 薄付け仕上塗材	2.680	改修後	
階段室	改修前	C	防水モルタル金鍍押え	防水モルタル金鍍押え	モルタル金鍍押え VP塗	モルタル金鍍押え VP塗	コンクリート打放しアクリルリシン吹付	2800	改修前	階段室
	改修後	C	下地処理の上プライマー塗その上プールコートターフ塗(防滑仕上)(通熱工法)	既存のまま	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 薄付け仕上塗材	2800	改修後	
器具庫	改修前	C	コンクリート	モルタル金鍍押え モルタル金鍍押え C B見出し	コンクリート打放しアクリルリシン吹付 モルタル金鍍押え C B見出し	コンクリート打放しアクリルリシン吹付 モルタル金鍍押え C B見出し	コンクリート打放しアクリルリシン吹付	2835	改修前	器具庫
	改修後	C	既存のまま	既存のまま	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 薄付け仕上塗材	2835	改修後	
部室1～15	改修前	C	コンクリート	モルタル金鍍押え モルタル金鍍押え C B見出し	コンクリート打放しアクリルリシン吹付 モルタル金鍍押え C B見出し	コンクリート打放しアクリルリシン吹付 モルタル金鍍押え C B見出し	コンクリート打放しアクリルリシン吹付	2885	改修前	部室1～15
部室1～7 外部倉庫1・2	改修後	C	既存の上からモルタル金鍍押え	既存のまま	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 EP-G塗	下地処理の上 薄付け仕上塗材	2835	改修後	部室1～7 外部倉庫1・2・3

外部仕上表								
	犬走	巾木	壁(柱型)	壁	梁型	庇	軒裏	
改修前	モルタル金鍍押え目地切	モルタル金鍍押え(GL+300)	コンクリート打ち放しアクリルシン吹付	モルタル剛毛引きアクリルシン吹付目地切 C B見出し	コンクリート打ち放しアクリルシン吹付	防水モルタル金鍍押え	コンクリート打ち放しアクリルシン吹付	
改修後	既存のまま	高圧洗浄のみ	下地処理の上 複層塗材 R E	下地処理の上 複層塗材 R E	下地処理の上 複層塗材 R E	下地処理の上 塗膜防水(X-2)	下地処理の上 薄付け仕上塗材	
ブル部分仕上表				■外壁改修工事			■地下凡例 C:コンクリート ■仕上凡例 VP:ビニールペイント塗り EP-G:つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り 軽鉄設置部分の下地補強(2C-60×30×10×2.3)は本工事とする EP-G不燃:NM-8585 同等品(基材不燃材共)	
ブル槽	改修前	ベストンモルタル金鍍押えブルコート塗(既存塗膜撤去) ラインタイル撤去		・高圧洗浄(30MPa以上)後にマ-キ-ン-を行うこと。 ・屋根面は、高圧水洗洗浄(10~15MPa)の事。			■共通事項 1. 床ビニルシート継ぎ目処理は、溶接工法とする。 2. 水廻りのシーリングはシリコン系シーリングとする。 3. 工事における建材・仕上材及び接着材についてはF☆☆☆☆以上とする[天井裏含] 4. 特記なき限り黒板・白板・掲示板は別途工事とするが、上下黒板・上下白板の 軽鉄設置部分の下地補強(2C-60×30×10×2.3)は本工事とする。 また下地補強位置については監督員、黒板工事施工者と打合せのこと。 5. 室名札設置。トイレ、ビクザン設置。 6. 床仕上げビニルシートは、CSR値を0.4~0.9とする。	
	改修後	下地処理の上ブル用塗料 GEU-1(平滑仕上) 下地処理モルタル補修の上 ライン塗装(コースライン・距離ライン・クロスライン)		・高圧洗浄後、塗材が残る場合は付着強度試験を行うこと。付着強度試験結果が日本産業規格(JIS A6909建築用仕上塗材)の 規定値に達しない場合は、原則として残っている塗材を剥すこと。(付着強度試験箇所等については、監督員と協議すること。)			■ブル槽水張り試験の流れ 1. ブール槽改修 2. 水張り試験 3. ブール槽清掃 4. 竣工検査、引渡し ※学校引渡し時は、水張りを行った状態にすること	
ブルサイド	改修前	平場:防水モルタル金鍍押え目地切 平場:人研ぎ 立上り・側溝:防水モルタル金鍍押え スタート台:人研ぎ		・工事対象部分の既設外壁仕上塗材及び下地調整材については、事前に石綿含有分析調査を実施済みであり、『含有なし』との結果を得ている。 ・クラック、浮き等破損部分は補修の事。 ・コンクリート(モルタル)及びC B(モルタル)の下地処理は高圧洗浄とする。				
	改修後	床・平場:下地処理の上ウレタン塗膜防水その上ブルコートターフ塗(防滑仕上)(遠熱工法) 立上り・側溝:下地処理の上ウレタン塗膜防水その上ブルコートターフ塗(平滑仕上)(遠熱工法) 階段:下地処理の上プライマー塗その上ブルコートターフ塗(防滑仕上)(遠熱工法)		・新設アルミドアの下端は防水モルタル補修の事。				

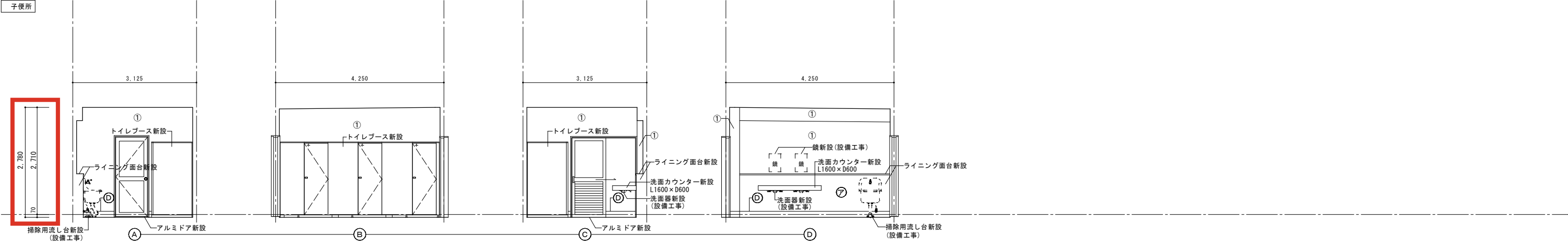
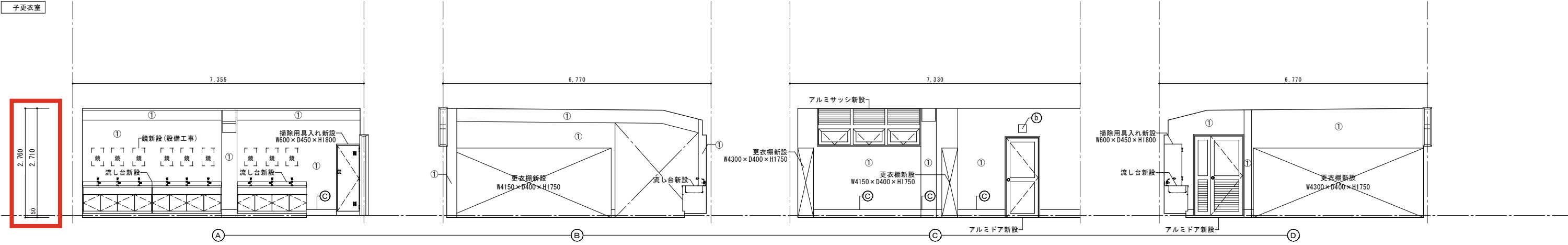
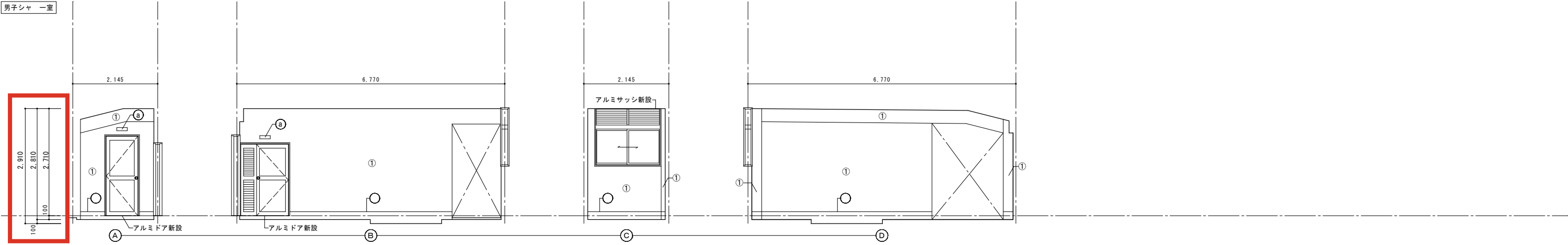
 株式会社 安東建築設計事務所 一級建築士事務所		保管 承認 確認 作成	/ / / /		訂正	特記事項	福岡県建築都市部営繕設備課	工事名 東筑高等学校プール棟大規模改造工事	図面番号 A-002 (追加)	発注図
	1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61297号 1級建築士登録 第320338号 安東 崇夫	検図 製図	/ /	. .						



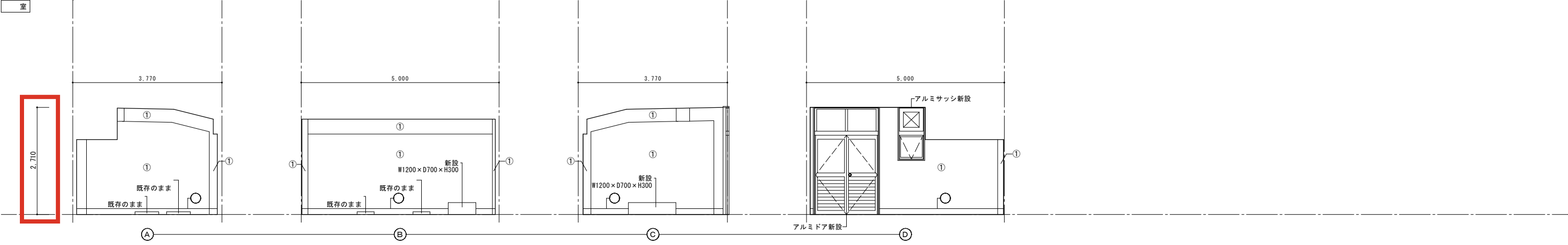
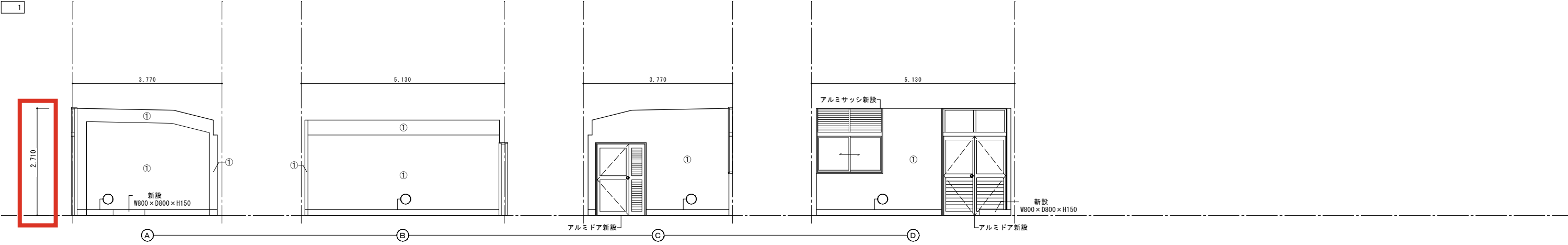
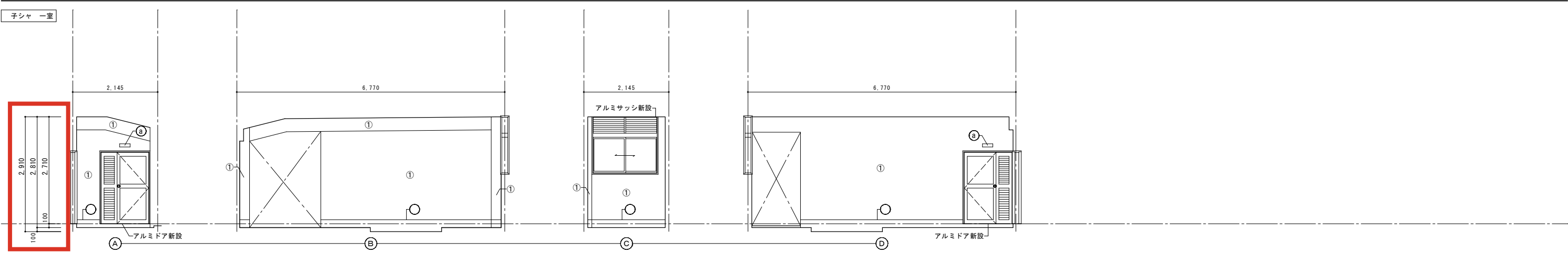
株式会社 安東建築設計事務所 一級建築士事務所		保管 竣工 竣工 竣工		訂正		特記事項		福岡県建築都市部営繕設備課		工事名 東筑高等学校プール棟大規模改造工事		図面番号 A-008(追)		発注図	
1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61297号 1級建築士登録 第320338号 安東 崇夫		検図 製図		承認 確認 作成						改修後 断面詳細図		縮尺 A1 1/30 A3 1/60		区分 建築	



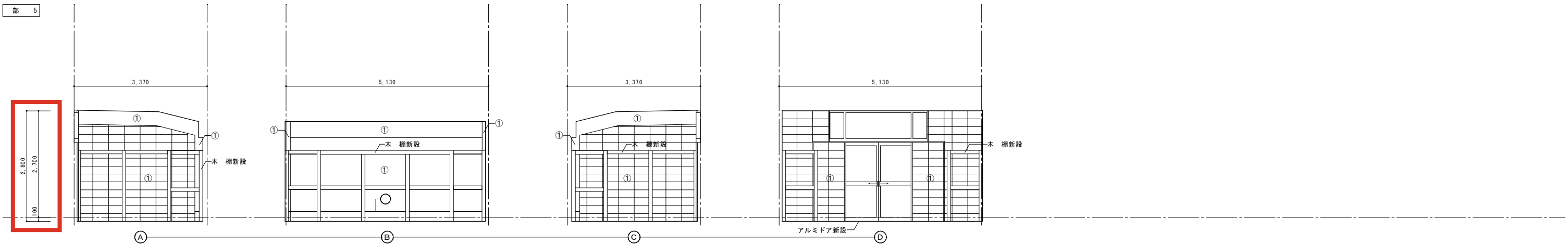
記号		壁仕上	記号		腰壁仕上	記号		巾木仕上	記号	その他
①	改修後	下地処理の上 EP-G塗	⑦	改修後	下地処理の上 EP-G塗	①	改修後	下地処理の上 EP-G塗	⑧	室名札
						②	改修後	ビニール巾木 H=100 新設	⑨	ビクトサイン
						③	改修後	下地処理の上 合成樹脂塗床 H=150		
						④	改修後	下地処理の上 合成樹脂塗床 H=220		



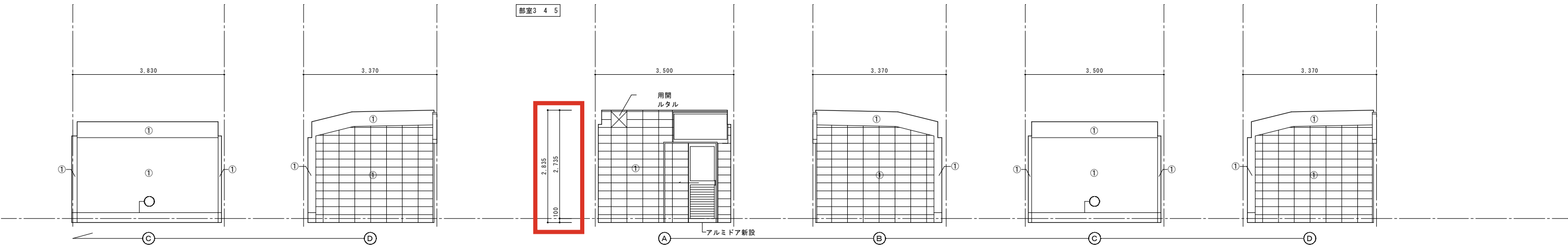
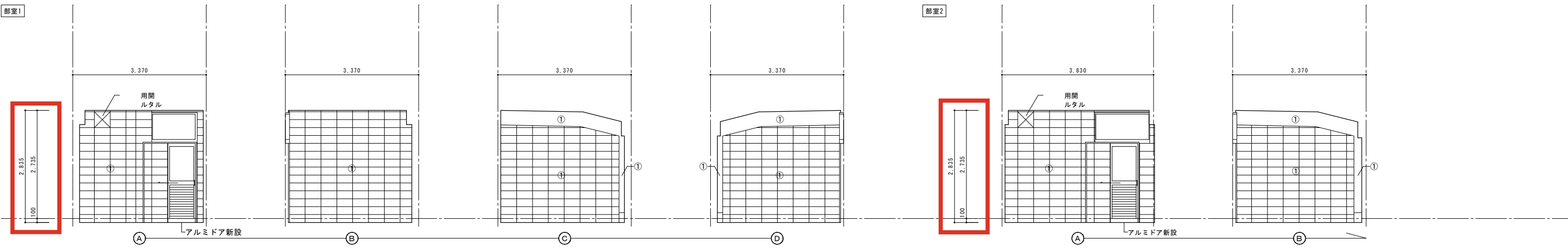
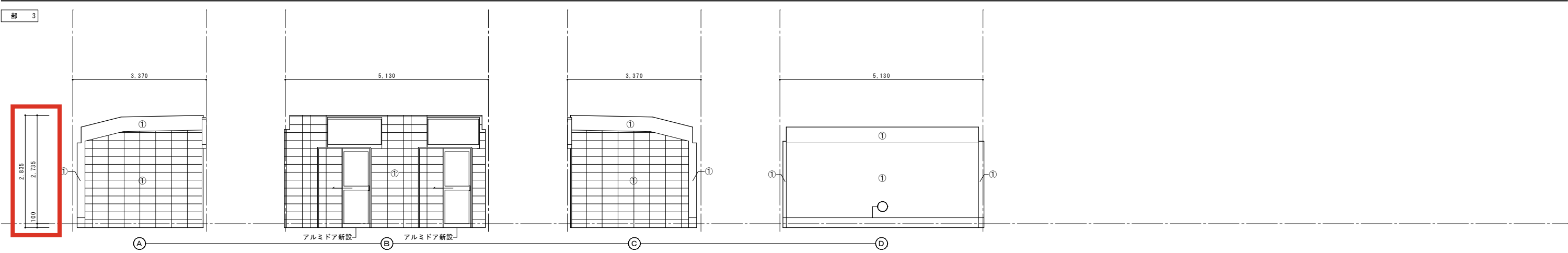
記号		壁仕上	記号		腰壁仕上	記号		巾木仕上	記号	その他
①	改修後	下地処理の上 EP-G塗	㉔	改修後	下地処理の上 EP-G塗	㉔	改修後	下地処理の上 合成樹脂塗床 H=150	㉔	室名札
						㉕	改修後	下地処理の上 合成樹脂塗床 H=220	㉕	ピクトサイン
						○	改修後	下地処理の上 合成樹脂塗床 H=250		



記号		壁仕上	記号		巾木仕上	記号	その他
①	改修後	下地処理の上 EP-G塗	○	改修後	下地処理の上 合成樹脂塗床 H=250	Ⓐ	室名札
			○	改修後	既存のまま		

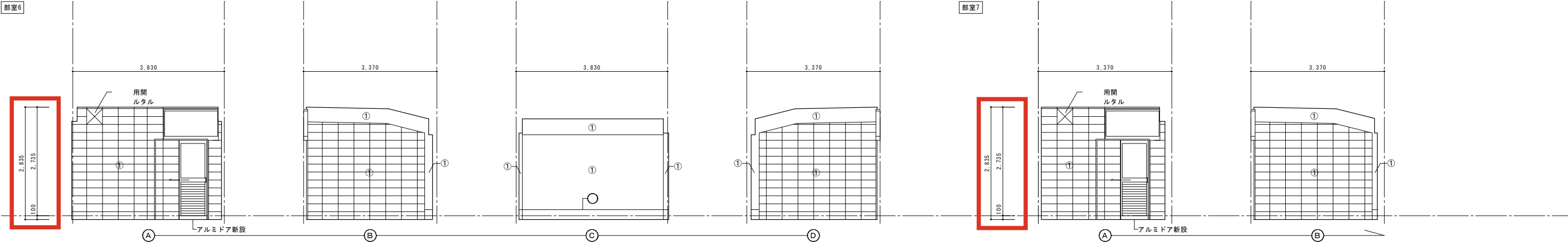


記号		壁仕上	記号		巾木仕上
①	改修後	下地処理の上 EP-G塗	○	改修後	既存のまま



記号		壁仕上	記号		巾木仕上
①	改修後	下地処理の上 EP-G塗	○	改修後	既存のまま

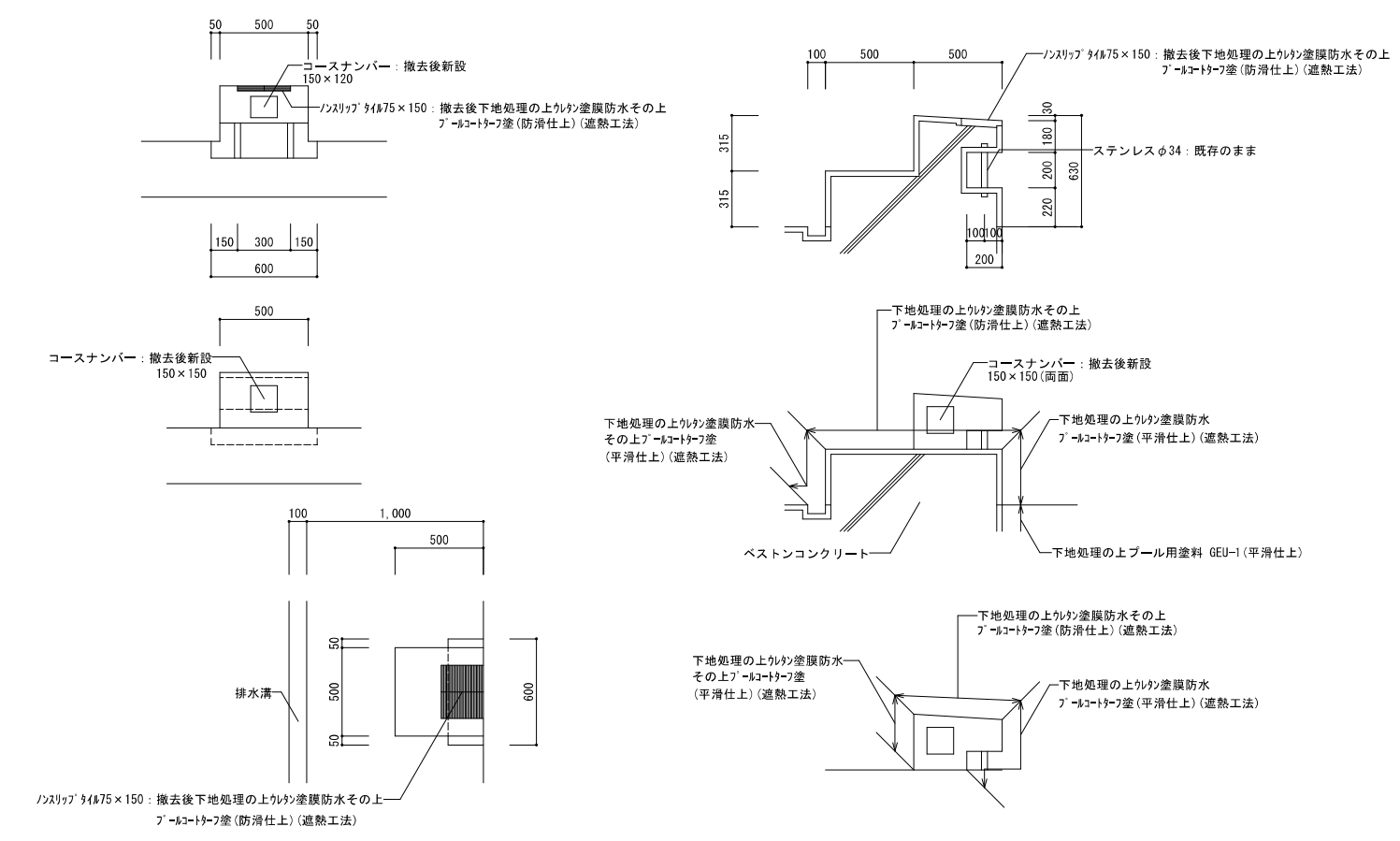
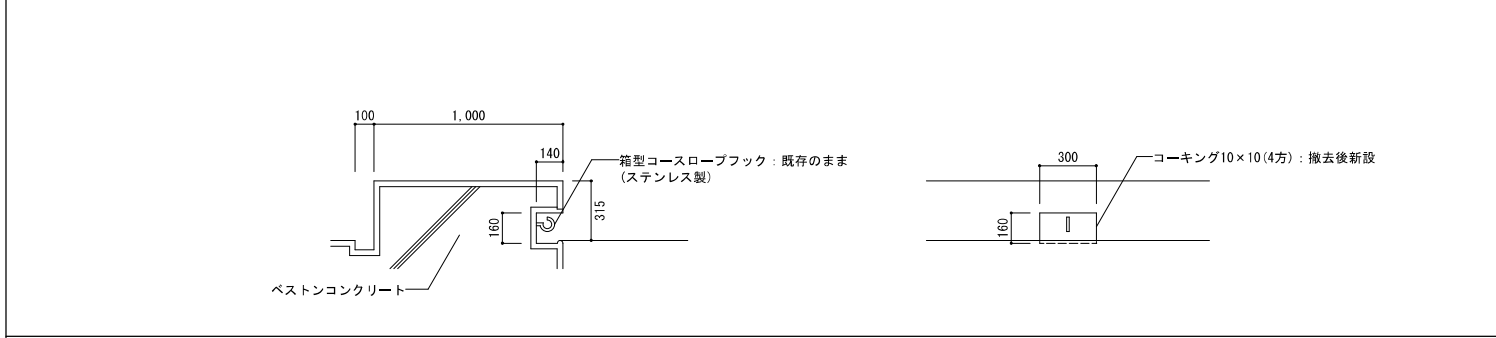
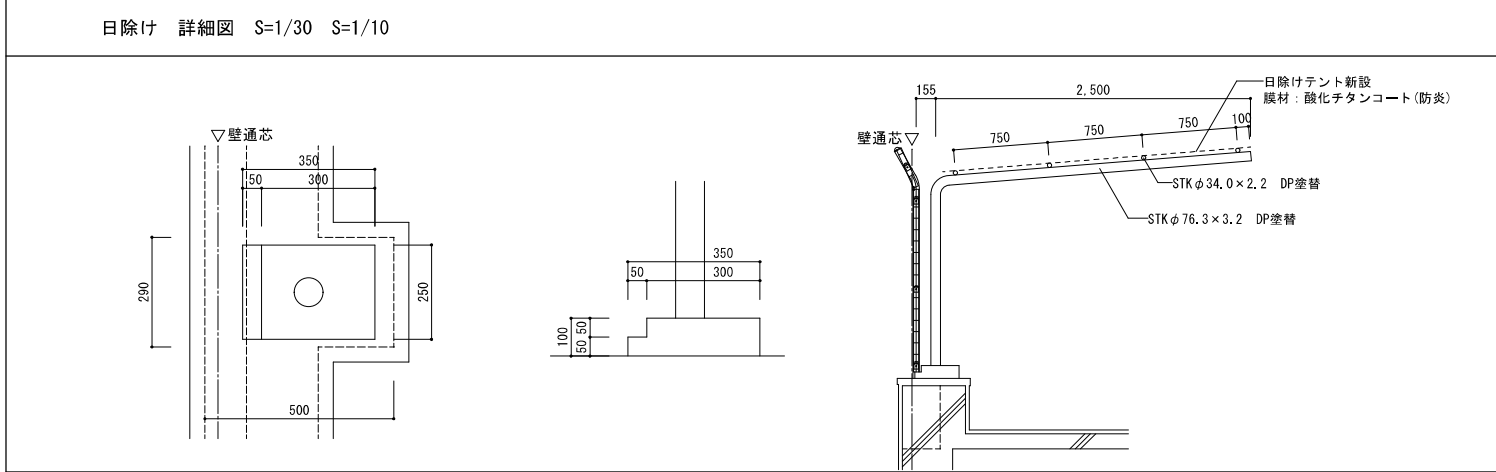
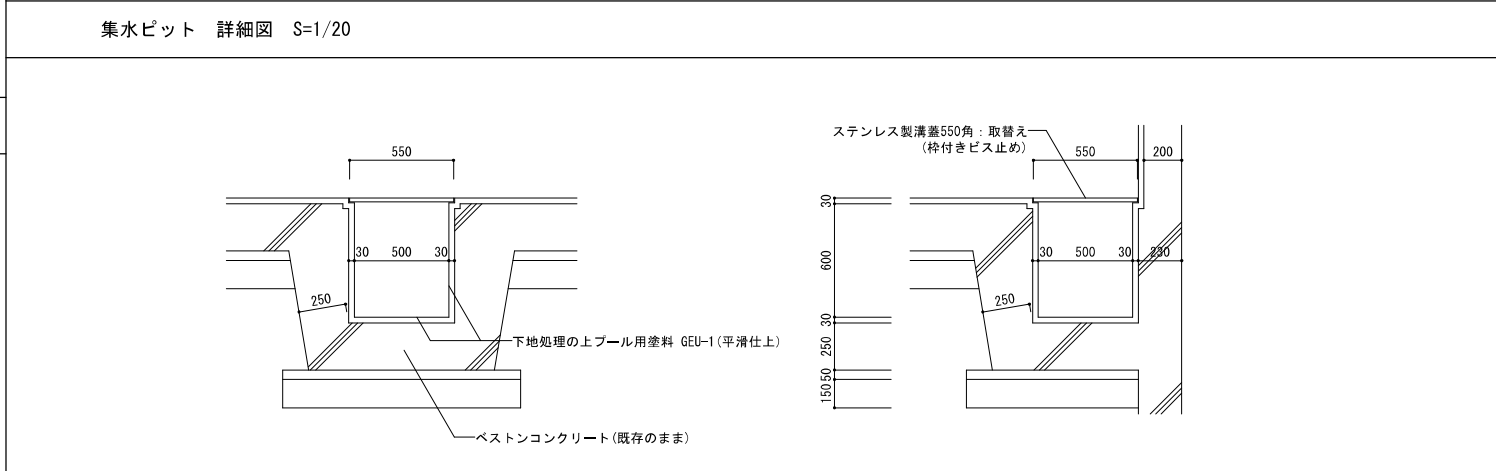
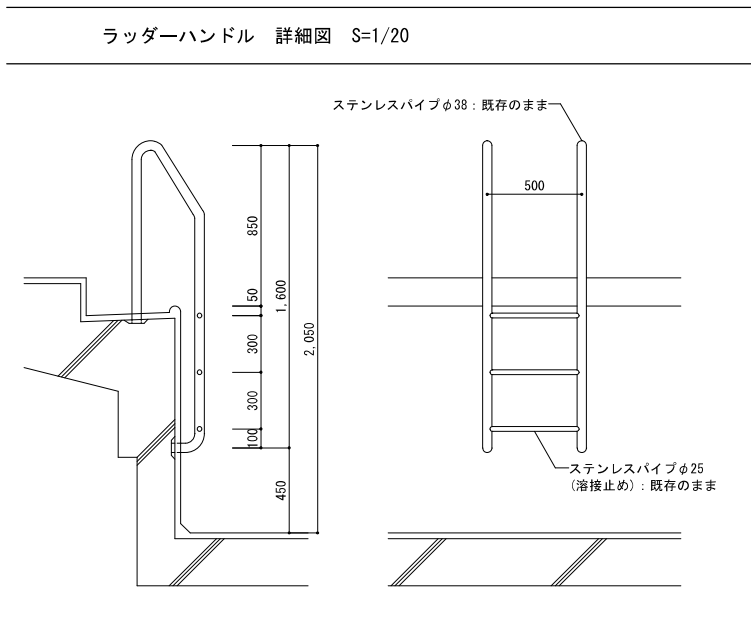
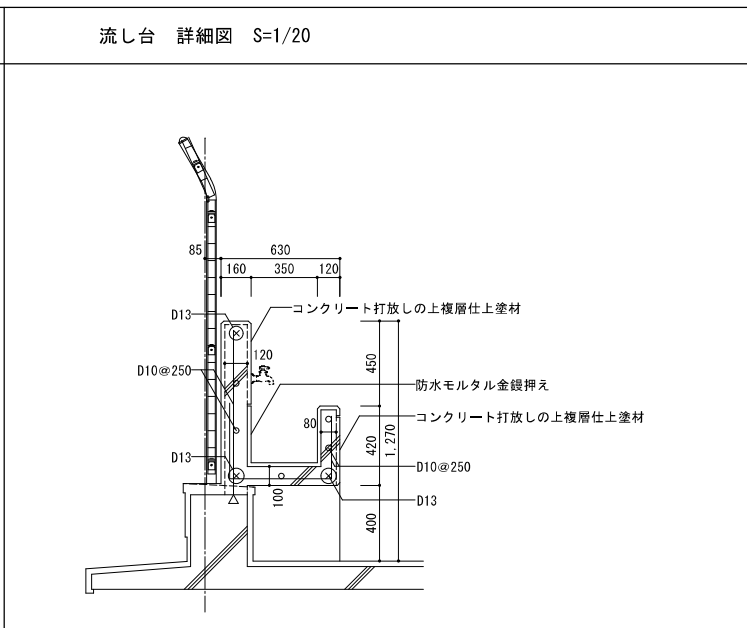
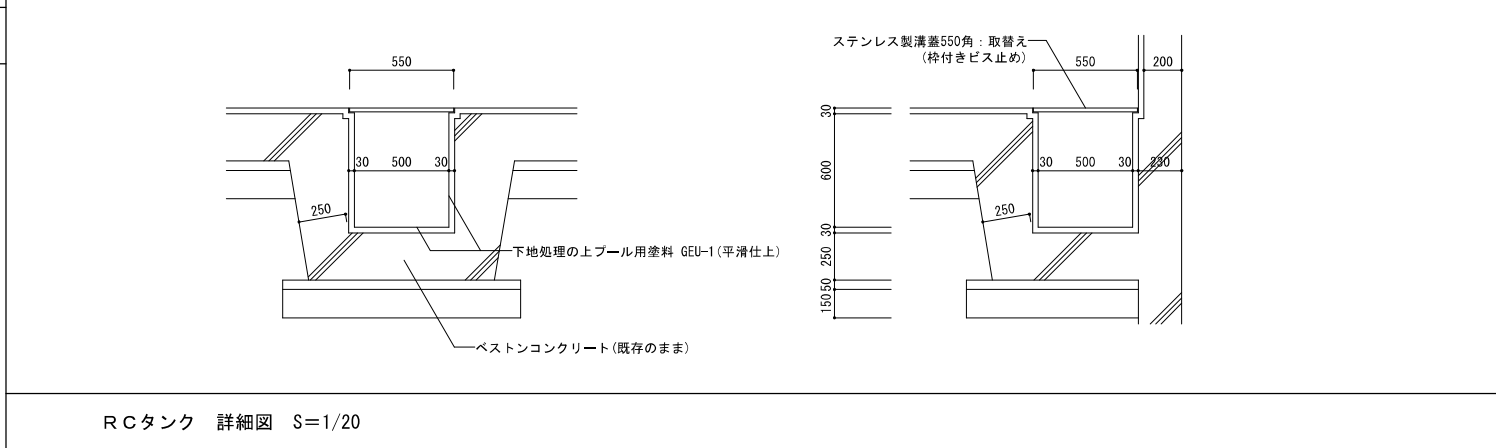
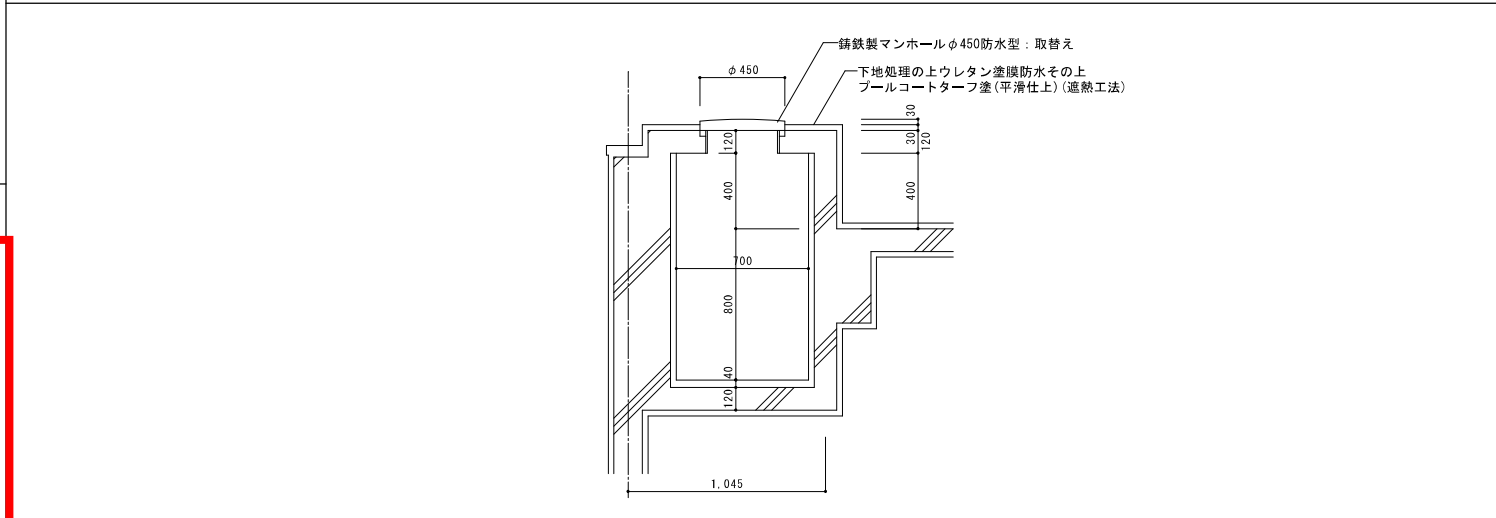
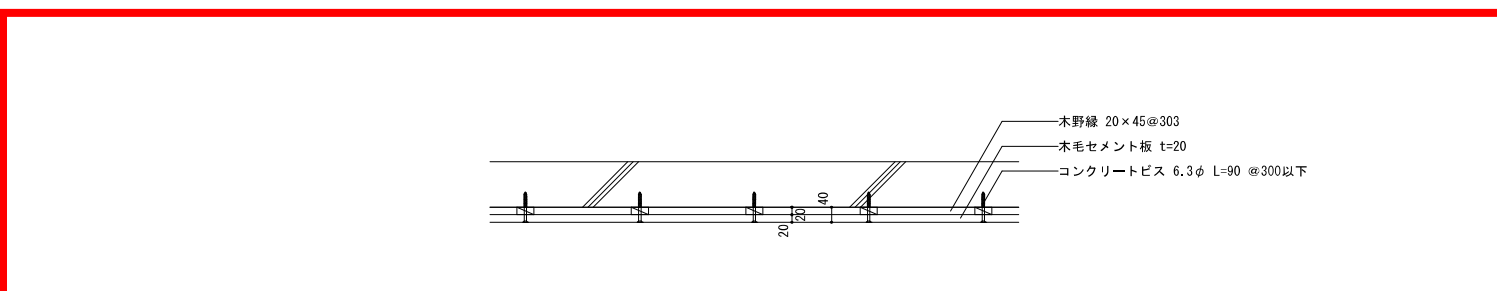
部室6



部室7



記号		壁仕上	記号		巾木仕上
①	改修後	下地処理の上 EP-G塗	○	改修後	既存のまま

スタート台 詳細図 S=1/20					コースロープフック 詳細図 S=1/20								
													
日除け 詳細図 S=1/30 S=1/10													
集水ビット 詳細図 S=1/20													
ラダーハンドル 詳細図 S=1/20		流し台 詳細図 S=1/20			RCタンク 詳細図 S=1/20								
													
天井納まり 詳細図 S=1/10													
													
株式会社 安東建築設計事務所 一級建築士事務所					福岡県建築都市部営繕設備課								
1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61297号 1級建築士登録 第320338号 安東 崇夫		検図 製図		保管 承認 竣工確認 作成	訂正	特記事項		工事名 図面内容	東筑高等学校プール棟大規模改造工事 雑詳細図(1)	縮尺 A1 A3	1/10・1/20・1/30 1/20・1/40・1/60	図面番号 区分	発注図 A-038(追) 建築